

2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

上場会社名 サイボウズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4776 URL <https://cybozu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青野 慶久
 問合せ先責任者 (役職名) 経営支援本部 (氏名) IR担当 (TEL) (03) 6671-9525
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績 (2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	18,736	15.7	3,124	266.1	3,306	156.1	2,369	386.4
2022年12月期第3四半期	16,193	19.0	853	△54.1	1,291	△31.5	487	△53.1

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 2,628百万円 (—%) 2022年12月期第3四半期 172百万円 (△84.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	49.78	—
2022年12月期第3四半期	10.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	18,500	11,162	60.3
2022年12月期	15,907	4,630	29.1

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 11,162百万円 2022年12月期 4,630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	25,497	15.5	2,376	288.4	2,450	148.1	1,541	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2023年1月5日に第三者割当による自己株式処分を行いました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」は、当該影響を考慮しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 6 「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	52,757,800株	2022年12月期	52,757,800株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	5,139,478株	2022年12月期	6,879,539株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	47,592,832株	2022年12月期3Q	45,878,302株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 1 「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	1
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	2
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(収益認識関係)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第3四半期 連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)	対前年同期比 (増減額)	対前年同期比 (増減率)
連結売上高	16,193百万円	18,736百万円	2,542百万円	15.7%
営業利益	853百万円	3,124百万円	2,270百万円	266.1%
経常利益	1,291百万円	3,306百万円	2,015百万円	156.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	487百万円	2,369百万円	1,882百万円	386.4%

2011年11月に提供を開始したクラウドサービスは、ご利用いただいている契約社数が59,000社、契約ユーザーライセンス数が270万人を突破し堅調に推移しております。

このような状況下において、当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、クラウド上で提供するサービスの売上が引き続き積み上がり、連結売上高は18,736百万円(前年同期比15.7%増)となりました。このうち、クラウド関連事業の売上高は16,364百万円(前年同期比20.2%増)となっております。利益項目につきましては、従業員数増加等により人件費が増加した一方、前期の積極的な広告宣伝投資に対して当期は認知度維持のための投資に抑えていることにより広告宣伝費が減少した影響等から、営業利益は3,124百万円(前年同期比266.1%増)となり、為替予約に係る為替差益が減少した影響等から、経常利益は3,306百万円(前年同期比156.1%増)となりました。また、法人税等計上後の親会社株主に帰属する四半期純利益については2,369百万円(前年同期比386.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2023年9月30日)	対前年比 (増減額)
資産合計	15,907百万円	18,500百万円	2,592百万円
負債合計	11,277百万円	7,337百万円	△3,939百万円
純資産合計	4,630百万円	11,162百万円	6,532百万円

資産合計につきましては、現金及び預金や売掛金が増加、クラウドサービス用のサーバー増設等により工具、器具及び備品が増加、上場株式の株価上昇により投資有価証券が増加した影響等から、前連結会計年度末に比べ2,592百万円増加し、18,500百万円となりました。

負債合計につきましては、金融機関からの借入返済により借入金が増加した影響等から、前連結会計年度末に比べ3,939百万円減少し、7,337百万円となりました。

純資産合計につきましては、剰余金配当596百万円を実施した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益2,369百万円の計上により利益剰余金が増加、第三者割当による自己株式処分により資本剰余金が4,045百万円増加、自己株式が454百万円減少した影響等から、前連結会計年度末に比べ6,532百万円増加し、11,162百万円となり、自己資本比率は60.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2022年12月15日に公表した内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,124	5,680
売掛金	2,821	3,296
未収入金	738	693
仕掛品	0	2
原材料及び貯蔵品	31	40
その他	546	792
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	9,257	10,502
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,220	1,249
減価償却累計額	△525	△595
建物(純額)	695	654
工具、器具及び備品	7,337	9,418
減価償却累計額	△4,437	△5,640
工具、器具及び備品(純額)	2,900	3,778
建設仮勘定	0	-
有形固定資産合計	3,596	4,432
無形固定資産		
ソフトウェア	122	158
ソフトウェア仮勘定	15	47
その他	19	25
無形固定資産合計	156	231
投資その他の資産		
投資有価証券	1,291	1,614
敷金及び保証金	877	864
繰延税金資産	700	769
その他	29	86
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,897	3,333
固定資産合計	6,650	7,997
資産合計	15,907	18,500

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2	0
短期借入金	2,200	-
1年内返済予定の長期借入金	2,480	-
未払金	1,335	681
未払費用	1,030	1,012
未払法人税等	251	828
契約負債	3,613	3,979
ポイント引当金	58	53
その他	171	647
流動負債合計	11,143	7,202
固定負債		
資産除去債務	130	130
その他	3	4
固定負債合計	133	134
負債合計	11,277	7,337
純資産の部		
株主資本		
資本金	613	613
資本剰余金	976	5,022
利益剰余金	3,928	5,700
自己株式	△1,800	△1,346
株主資本合計	3,718	9,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	683	869
為替換算調整勘定	228	302
その他の包括利益累計額合計	911	1,171
純資産合計	4,630	11,162
負債純資産合計	15,907	18,500

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	16,193	18,736
売上原価	1,364	1,748
売上総利益	14,829	16,988
販売費及び一般管理費		
人件費	5,829	6,648
業務委託費	744	751
広告宣伝費	4,372	2,538
退職給付費用	29	29
研究開発費	170	486
その他	2,828	3,410
販売費及び一般管理費合計	13,975	13,864
営業利益	853	3,124
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	4	12
為替差益	406	134
その他	60	65
営業外収益合計	473	216
営業外費用		
支払利息	15	3
売上債権売却損	18	31
その他	1	0
営業外費用合計	35	34
経常利益	1,291	3,306
特別利益		
固定資産売却益	0	0
固定資産受贈益	0	26
特別利益合計	0	27
特別損失		
減損損失	5	17
固定資産除売却損	2	8
特別損失合計	8	25
税金等調整前四半期純利益	1,283	3,307
法人税、住民税及び事業税	511	1,089
法人税等調整額	284	△151
法人税等合計	796	938
四半期純利益	487	2,369
親会社株主に帰属する四半期純利益	487	2,369

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	487	2,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△394	185
為替換算調整勘定	80	73
その他の包括利益合計	△314	259
四半期包括利益	172	2,628
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	172	2,628

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年1月5日付で、株式会社リコーから第三者割当による自己株式処分の払込を受けました。当該自己株式処分により、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が4,045百万円増加、自己株式が454百万円減少しております。この結果等により、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が5,022百万円、自己株式が1,346百万円となりました。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

収益認識の時期別に分解した顧客との契約から生じる収益は以下のとおりであります。

なお、当社グループ(当社及び連結子会社)の報告セグメントは「ソフトウェアの開発、販売」のみであり、その他の事業セグメントは開示の重要性が乏しいため、セグメントごとの記載を省略しております。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
一時点で移転される財又はサービス	562	527
一定期間にわたり移転される財又はサービス	15,631	18,209
顧客との契約から生じる収益	16,193	18,736
外部顧客への売上高	16,193	18,736